

LA LETTRE DU SENEGAL



Asalaam alaikum! (アッサラーム・アライクム！)

みなさんこんにちは！青年海外協力隊2023年度4次隊、青少年活動・松岡愛実です。セネガル共和国のバンベイという町の視学官事務所（教育委員会にあたる組織）に所属し、小学校図書室を拠点に子どもたちへの読書アクティビティの推進を主な活動として行っていく予定です。（この記事執筆中のいまは配属直後なので、図書室の現状把握に努めています）

ここでは、協力隊の活動や、セネガルでのくらしに焦点を当てて「セネガルのいま」をたくさん写真とともにお伝えします。みなさんにとってセネガルがより身近な国になるような、興味・関心を持ってもらえるような、そんな情報を発信していけるように日々アンテナを張り巡らせながら、常にワクワクとユーモアを探しているところです！

さて、5月20日に出国してからの約1ヶ月は首都ダカールの語学学校で公用語のフランス語と現地語のウォロフ語を勉強していました。セネガルの挨拶は、パターン（やりとりの型？）がいくつもあってそれを覚えるのに必死です。また、イスラム教徒が9割を占める国ということもあり、挨拶の第一声は「アッサラーム・アライクム」（アラビア語）だったりもして、多言語すごいな！と新鮮に感じたりもしました。少しずつ頑張ります！

①首都ダカールで最も賑わう地区プラトー。日本語で話しかけられることも多い ②生地屋と仕立て屋が至るところにあり、テーラーに服を作ってもらうのがセネガル流 ③赤土が多く風が吹くと砂が舞う。サンダルに入ってくる砂もそこそこに暑い ④ヴィーガンレストランにて同期と ⑤日本では見ることのない馬車の標識inダカール ⑥コメの自給率は約40%。チェブジェンに使われる破碎米の多くはタイやベトナムからの輸入米 ⑦私の大好物スープカンジャ。カンジャはオクラを意味し、赤みはパームオイル由来なので全く辛くない。



松岡愛実（セネガル名はファトゥ・ンジャイ）。高知県出身。青年海外協力隊2023年度4次隊員。青少年活動で2024年5月からセネガル派遣中。首都ダカールから東に約130km離れた場所に位置する「Bambey（バンベイ）」の小学校図書室を拠点に、子どもたちへの読書アクティビティの推進と図書室の運営維持を主な活動として取り組む予定。食べ物を前にすると目が輝く。セネガル料理（通称セネ飯）がとにかく大好きな28歳。

西アフリカの主要国、セネガル



国旗の紹介



旧宗主国のフランスの3色旗を手本に、緑・黄・赤の「アフリカの色」を使用しています。中央の星はアフリカの自由のシンボルで、セネガルの単一性も表しています。緑は農業と希望を、黄色は富と資源を、赤は独立の苦難と尊い血と犠牲を表しています。アフリカの国旗に緑・黄・赤の3色が使用されることが多いのは、植民地時代にも独立を保っていたエチオピアの国旗に由来すると言われています。

人口	1,732万人
面積	197,161km ² (日本の約半分)
首都	ダカール
言語	公用語：フランス語 現地語：ウォロフ語等
宗教	95%がイスラム教徒 その他キリスト教徒等
気候	乾季と雨季

引用元：外務省HP

Senegal

セネガルのあれこれ



日中の暑い時間を避ける 夜行性なセネガルの人々

日中は日差しが強く気温も高いため、「日が沈んでから買い物に行こう」とよく言われます。首都ダカールでは23時ごろでも個人商店が開いていたり、子供たちも遅い時間まで外で遊んでいます。



コンクリートブロックを積み重ねて造る、今日のセネガル住居

鉄とコンクリートで建てられた住居の窓のほとんどが「反射ガラス」です。日差しがかなりきついセネガルで、直射日光を抑えるためのくらしの工夫が見えました。(バンベイの自宅も同じ)

手が止まらない！ お米が主食の”セネ飯”

とにかく美味しいセネガル料理。これは「ヤサギナール」で、玉ねぎソースと鶏肉を、お米と一緒に食べます。油分と塩分が多いので、身体と相談しながら食べるのが大切です。ちなみにお米の手前はおこげ（ホーニュ）です。



～ 今月のウォロフ語 ～

tutti (トゥーティ) / 少しだけ

例) Dégg naa tutti Wolof. (ウォロフ語が少し分かります)